

【教育目標】

「主体的に行動する」「すすんで貢献する」「多様性を理解する」「新たな考えを創造する」

令和7年度 第5号

令和7年9月3日

「高島なかよし通り学びのエリア」

高島幼稚園・高島第二小学校・高島第二中学校

◆生徒の様子は学校ホームページをご覧ください



高二中だより



板橋区立高島第二中学校 〒175-0082 東京都板橋区高島平 2-24-1

Tel 03 (3936) 1591

Fax 03 (3935) 6441

ささやかな気配

夏休みが明け、校舎に再びにぎやかな声が戻ってきました。皆さんがそれぞれの夏を過ごし、元気に登校している姿を見ると、また新しい季節が始まったのだと感じます。とはいえ、まだまだ夏の暑さが続くこの頃は、新学期の緊張や生活リズムの変化もあり、心や体が疲れやすい時期でもあります。

9月は、季節の上では秋にあたりますが、実感としてはまだ夏の名残が強く、変化に気づきにくい時期でもあります。そんな時期にふと私が思い出すのは、古今和歌集にある藤原敏行の和歌です。

「秋来ぬと 目にはさやかに 見えねども 風の音にぞ おどろかれぬる」

この歌は、視覚ではまだ秋らしさを感じられないものの、風の音にふと季節の移り変わりを知ったという静かな驚きを詠んだ秋の一首です。当時の人々にとっても、季節は目に見える大きな変化ではなく、風の音や虫の声、日の長さといった「ささやかな気配」から感じ取るものでした。

この和歌を9月に思い出すのは、まさに今の季節がその「目には見えにくい変化」の中にあるからです。夏と秋の間で揺れ動くような時期。毎日の学校生活の中で、新たな行事や活動に向けた準備が始まりつつも、まだ気持ちが追いついていない人もいないのでしょうか。そんなときこそ「見えないけれど確かに変化しているもの」に目を向けることが大切なのだと思います。大きな成果が出ない日でも、「自分では気づかないほど小さな一歩」を、きっと誰もが踏み出しています。例えば、朝きちんと起きたこと、授業中に集中できた時間が少しでもあったこと、友だちに「おはよう」と声をかけられたこと。そうした小さな前進が、やがて確かな成長へとつながっていくのです。

自然の季節が、見えないところで少しずつ移ろうように、人の心や気持ちもまた静かに変化していきます。焦る必要はありません。秋の風に耳をすませるように、自分の内側の変化に目を向けながら、自分のペースで歩いていきましょう。

行事も本格化していくこの時期です。無理をせず、体調に気をつけながら、皆さんが穏やかに秋の一歩を踏み出していきける9月となりますように！

【令和8年度4月新入生徒向け学校説明会】

日時： 令和7年9月5日（金） 14：45～（受付開始14：30）

会場： 本校体育館 （上履きをお持ちください。）
※当日は5校時の授業を公開しています。

月
日
曜
日